

**憲法しんぶん 速報版**  
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007  
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2020年1月23日(木)

NO. 1032号

本号3頁

## **国会開会日行動に 500 人参加! 自衛隊中東派兵反対、桜を見る会徹底追及等を訴える!**

通常国会が開会した20日、総がかり行動実行委員会と全国市民アクションは国会議員会館前で「自衛隊の中東派兵反対、『桜を見る会』徹底追及、権力私物化反対、安倍改憲発議阻止、共謀罪廃止、安倍内閣退陣1・20国会開会日行動」を行いました。500人が参加。参加者らは「自衛隊を中東に送るな」や「検察は不正を許すな 桜を見る会徹底追及」などとかかれたカードを掲げ、「安倍首相の責任重大」や「疑惑の議員、全員出てこい」等とシュプレヒコールを上げ、自衛隊の中東派遣や「桜を見る会」の問題、カジノを含む統合型リゾート（IR）をめぐる議員の金銭授受の疑惑などに抗議しました。



マイクを握った主催団体共同代表の高田健さんは、桜を見る会や相次ぐ大臣の辞任などを念頭に、安倍首相の対応を批判。「『任命責任がある』とだけ言って責任がとれたら、こんな簡単なことはない。責任を取るなら、内閣総辞職をすればいい」とスピーチしました。

社民党・福島みずほ参院議員、日本共産党・山下芳生参院議員、沖縄の風・伊波洋一参院議員、立憲民主党・熊谷裕人参院議員があいさつ。なお、行動には、多数の日本共産党の参院議員、立憲民主党の議員らが駆けつけました。

さらに、市民団体が発言。共謀罪 NO!実行委員会・萩尾健太弁護士は「衆議院に共謀罪廃止法案を提出している。法案を審議させ廃止させたい。参議院からも廃止法案を提出したい」と訴えました。改憲問題対策法律家6団体連絡会・鹿島裕輔弁護士は「国民は改憲を望んでいない。反対の声を大きくしよう。私たちの自由を守る憲法は、私たちの手で守らなければならない」と強調しました。止めよう辺野古埋立て国会包囲実行委員会・中村利也さんは「沖縄県の試算では辺野古埋立てに2兆5500億円もかかる。完成するかは闇の中。建設計画は破綻している。引き続き、沖縄と連帯した行動にご参加を」と訴えました。

東京都三鷹市から参加した女性（65）は、「疑惑の議員は国会での説明から逃げてばかり。安倍さんのマネをしているのではないか。国民が見くびられている」と話しました。

## **首相 施政方針演説**

### **「桜」・IRカジノ・閣僚辞任にふれず、オリンピックを繰り返す**

安倍首相は20日、衆参両院の本会議で施政方針演説を行い、東京オリンピック・パラリンピックを「世界中に感動を与える最高の大会」にすると成功への決意を表したうえで、国民とともに新しい時代を切り拓くと強調しました。また、憲法改正については「その案を示すのは国会議員の責任ではないか」と国会の場で議論を進めようと呼びかけました。一方で「桜を見る会」の私物化疑惑、カジノを中核とする統合型リゾート（IR）事業をめぐる汚職事件、昨年辞任した2人の前大臣らの公職選挙法違反の問題など安倍首相に直撃する疑惑が山積みしていますが、施政方針では、これらの疑惑には全く言及せず、政治不信を招いたことへの反省もありませんでした。

外交・安全保障については、戦後外交を総決算し、新しい時代の日本外交を確立する正念場の1年だとしたうえで、全く展望が見えない、北朝鮮による拉致問題の解決、韓国との「徴用」をめぐる問題、ロシアとの間で北方領土問題・平和条約を締結に向け奮闘する決意を述べています。

さらに、安倍総理大臣は、今年が日米安全保障条約の改定から60年の節目となることに触れたうえで、アメリカ軍普天間基地の移設計画の推進とは明示せず、「日米の深い信頼関係のもと、沖縄に駐留する海兵隊のグアム移転に向け、施設整備などを進める」としています。そして、沖縄県名護市辺野古への米軍新基地建設については、「辺野古」の言葉を使わずに、「抑止力を維持しながら、沖縄の基地負担軽減に、一つひとつ結果を出していく」とゴマカシに終始。緊張が高まっている中東情勢については、「全ての関係者に、対話による問題解決と自制的な対応を求める」としか述べず、イラン司令官殺害という米国の国連憲章違反の先制攻撃などには全く言及しませんでした。



最後に、憲法改正について、「未来に向かってどのような国を目指すのか。その案を示すのは、私たち国会議員の責任ではないか」と述べ、憲法改正の実現に強い意欲を重ねて示し、衆参両院の憲法審査会の場で議論を進めようと呼びかけました。様々な世論調査でも、安倍政権下での改憲反対が多数を占めています。しかし、安倍首相は国民の声など全く無視し、いつものように改憲への意欲を示しました。

## **安倍首相 施政方針演説からウソ連発! 「フェイク」批判も**

安倍晋三首相が20日に行った施政方針演説で、正確性に欠ける内容が複数含まれていたとの批判が高まっています。演説では、政府が推進する「地方創生」や「アベノミクス」などの成果について、具体例を挙げて強調しましたが、誤解を招きかねない表現が散見され、野党からは「フェイク（うその）演説だ」との批判の声があがり、マスコミからも批判の報道が相次いでいます。

### **実名上げた男性は、転居**

西日本新聞は、首相は地方創生を巡り、島根県江津市で若者の移住や起業支援をしたことで転入者が転出者を上回る人口の社会増が実現したと紹介。移住した男性の実名を挙げ「地域ぐるみで若者のチャレンジを後押しする環境が、移住の決め手となった」と言及しましたが、現在、男性は江津市に住んでいないことが判明。市は取材に「家庭の都合で転居された。（起業した会社に）在籍しているかどうか分からない」と答えたと報道しています。

これに対して、菅官房長官は20日の記者会見で、演説前に本人に確認したとした上で「起業支援の成功例として演説で紹介するのは問題ない」と述べ、男性に関する記述の妥当性を強調しました。

### **来年度予算の税収は過去最高? 本当ですか?**

また、同新聞は、首相が演説で「来年度予算の税収は過去最高となった。公債発行は8年連続での減額」と述べた部分にも疑問が持たれていると指摘。政府が今国会に提出する2020年度予算案では、税収は63兆5130億円と過去最高を見込んでいるものの、あくまで予算上の試算。実際、昨年19年度の施政方針演説で「過去最高」とした19年度予算案の税収は既に下方修正され、20年度予算も修正される可能性があり、「8年連続での減額」とした新規国債の発行額についても、収支が確定した決算ベースでは減額し続けておらず、年度ごとに増減を繰り返していると批判しています。

さらに、昨年10月の台風19号の際に「(群馬県の)八ツ場ダムが利根川の被害防止に役立った」との演説内容も、正確性を欠くと指摘。当時、試験湛水中だった八ツ場ダム単体による防災効果が確認されていないと述べています。

いつでも嘘をつく安倍首相ですが、原稿を他の人に書かせていたとしても、事実に基づく情報が正確かを確認して演説すべきは当然ではないでしょうか。

## **首相・与党枠で膨張 「桜」招待客 5年で2千人増の大半**

内閣府は21日、桜を見る会」の2019年まで過去6年分の招待客数の内訳を一覧表にした新資料を、与野党に示しました。表によると、最近の5年間で最大約2000人増えた招待客数の大半は安倍首相や与党による推薦者で占められ、「政治枠」の膨張が全体の招待客数を押し上げた実態が裏付けられました。

資料によると、全招待客数は最も多かった18年が15,910人で、15年から2000人以上増えています。「各界功績者(総理大臣等)」と分類された政治推薦枠も、15年の7,385人から18年には9,494人に約2000人増え、相関性が浮き彫りとなりました。

19年の招待客数は15,420人で、政治推薦枠は8,894人。15年から約1,700人増えた招待客のうち、約1,500人を政治推薦者が占めました。

19年の招待客について、菅官房長官はこれまで約15,000人の推薦者のうち、首相は約1,000人、官房長官ら約1,000人、自民党関係者約6,000人と説明。合計は「総理大臣等」に分類された人数に近い数字です。14年分は総理大臣等の分類がなく、直接比較できませんでした。

このほか、内閣府はこれまで廃棄したと説明していた11～13年の桜を見る会に関する文書ファイルが総務課内で見つかったことも与野党に明らかにしました。内容は開催要領や業者との契約に関する決裁文書などで、招待客名簿は含まれていないと説明しました。

## 各地の19日行動

### 秋田 50人が参加し「声を上げよう！県民集会デモ」

秋田県憲法センターは19日、秋田市のJR秋田駅前「戦争法廃止、安倍9条改憲NO、陸上イージス配備反対、声を上げよう！県民集会デモ」に取り組み、50人が参加しました。

テレビで人気のキャラクターにふんした虻川代表は、トランプ米国大統領いいなり、民意無視・新屋ありきで陸上イージス配備をゴリ押しする政府、防衛省を「なに考えとんねん！」と一蹴。「安倍首相は『私の手で改憲を成し遂げる』などと言うが、憲法は国民のもの。憲法改悪阻止、陸上イージス配備反対、戦争法廃止の声を上げよう」と訴えました。

土崎空襲を後世に伝える土崎港被爆市民会議事務局の伊藤紀久夫さんは、「将来を担う子どもたちが安心して暮らせるふるさとを守るため、陸上イージス配備撤回訴え続ける」と決意表明。陸上イージスを考える県民の会・勝平の会のメンバーらが、反対県民署名への協力を訴え、参加者らは中心街をデモ行進しました。

### 三重 通いかかった女性は戦争への危機感を語り宣伝行動にも参加

津市のまん中広場前では「憲法共同センター・みえ」「憲法を守り生かすみんなの会・津」が呼びかけた宣伝に8人が参加。「安倍9条改憲NO!」「中東派兵絶対反対」などのプラカードを掲げ、シュプレヒコールも行い、通行人にアピールしました。

通いかかった女性(69)が「戦争法の成立や、この間の辺野古新基地の建設、オスプレイが県内を飛ぶなど、知らない間に、日本が戦争する国に向かっている」と危機感を述べ、宣伝行動にも参加しました。宣伝を聞いていた男性(49)は「中東派兵は、自衛隊員の命の心配もあり反対。安倍首相は桜を見る会など、政治を私物化しているので支持しない」と語りました。男性(68)は「安倍政権はスキャンダルなどで、もう使用済みと思っている。早く代えないとダメ」と話しました。

県平和委員会の田中茂二郎事務局長、日本共産党の岡野恵美県副委員長・前県議らが訴えました。

### 宮城 「県民の会・宮城」と「弁護士の会」が、中央通り商店街でキックオフ宣伝

安倍首相の「桜を見る会」を追及する「県民の会・宮城」と「弁護士の会」は19日の昼と夕方、仙台市の中央通り商店街でキックオフ宣伝をしました。

昼の宣伝では、「安倍首相は『桜を見る会』の責任を取れ！徹底調査と刑事責任を求めます」の横断幕を広げ、参加した26人がビラを配布し、交代でマイクを握り、捜査するよう求める署名を訴えました。

仙台市青葉区の三浦明美さん(66)は「名簿がないなんてウソ。官僚も忖度ばかりだし。安倍首相を早く辞めさせないとだめだ」と力をこめ、泉区の男性(59)は「私たちの税金ですよ。国会で審議してあたりまえですよ。私は、子どもたちに『無駄遣いしないように小遣い帳をつけなさい』って言っているんです。それが、名簿も資料も何もないなんてありえません。民主主義に反しています。怒り心頭です」と語気を強めました。

青葉区の阿部文明さん(70)は、「論外です。税金の私物化、犯罪ですよ。安倍首相ははじめをつけて辞めるべきです」と語りました。「安倍首相が好きだ」という人に、「分かりました。でも悪いことをしたらはじめをつけないとだめですよ」と話すと、「そうですね」署名しました。